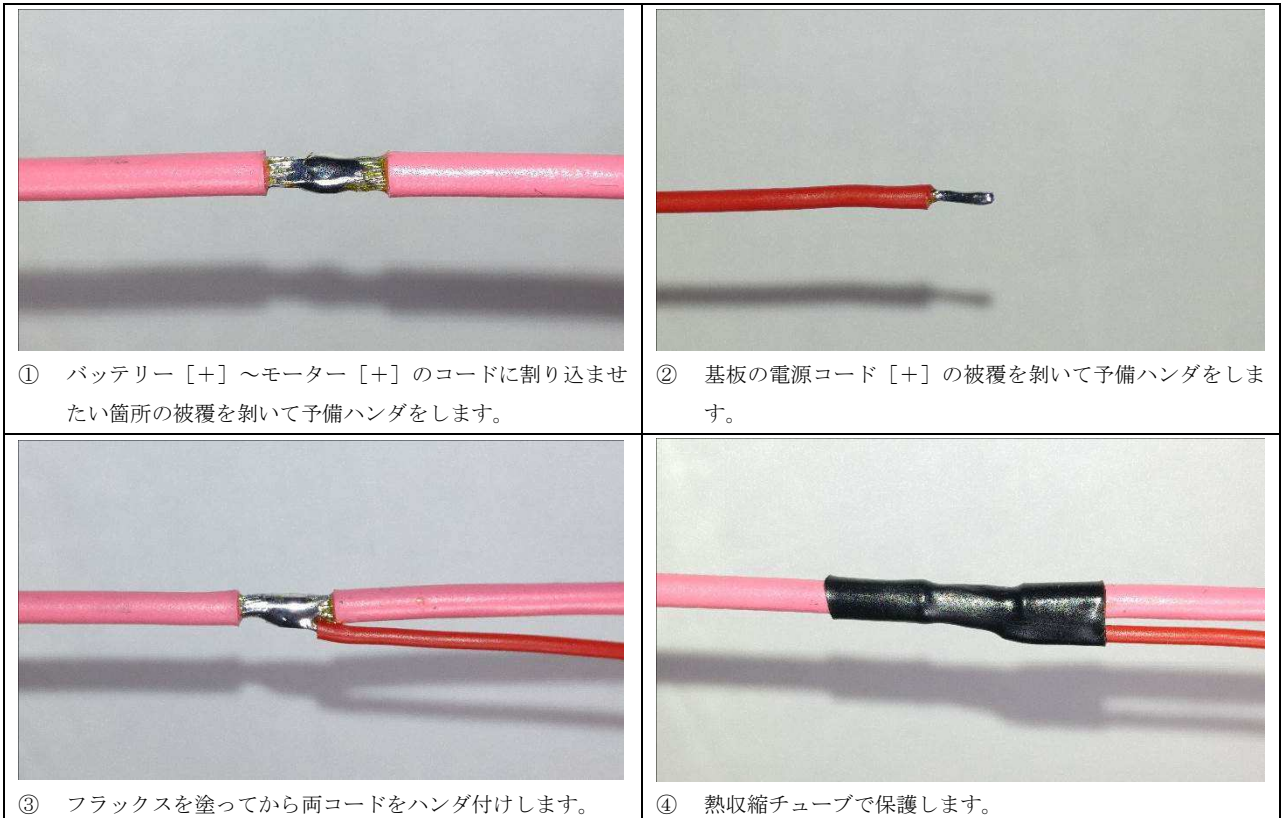


陽炎シリーズ共通説明書

■ 後方配線等でバッテリー～モーターのコードに分岐接続する方法



■ ギヤにグリスを塗布する場合、塗りすぎにご注意下さい。

ギヤの噛み合う部分、擦れる部分、軸周りに薄く塗布します。
※塗布する量が多いとギヤの回転でグリスがメカボックス内に飛んでしまうとの下の写真のように制御基板のカットオフ検出スイッチの部分に溜まってカットオフの動作を正しく検出できなくなる恐れがあります。



■ メカボックスを閉じる際の注意

シム調整を行いギヤとその他パーツを組み込みます。

制御基板のカットオフスイッチのアームを破損させないように注意してセクターギヤ等を組み込んでください。

コードをメカボックスで挟まないように注意してメカボックスを閉じてください。

万が一コードを挟んだまま通电させてしまった場合、基板の故障する場合があります。

■ ヒューズの取り付け位置

ヒューズは電気回路を保護する重要なパーツです。必ず取り付けて下さい。
 ※FET基板からミニコネクタの間で赤色のコード(+)側に取り付けて下さい。

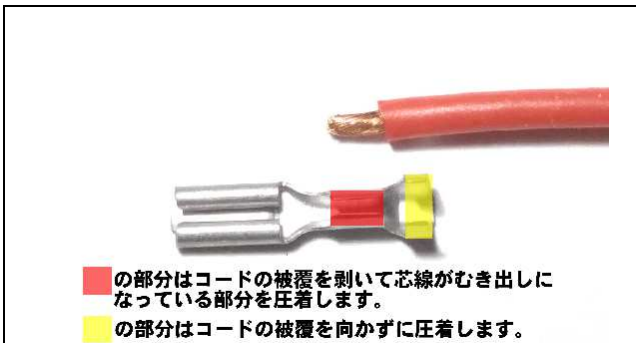


ヒューズの端子が厚いためファストン端子に少ししか差し込めません。
 ファストン端子を細めのマイナスドライバでヒューズの端子が入るように広げて下さい。



広げることでヒューズの根元まで差し込むことが出来ます。
 広げすぎるとヒューズが抜けやすくなり接触不良になることがあります。
 広げすぎた場合はラジオペンチ等で調節して下さい。

■ モーターコネクタ (ファストン端子) とシリコンコードの繋ぎ方



① 圧着するコードの先端の被覆を剥きます。





② 圧着工具を用いてしっかり圧着します。



③ 被覆を剥いていない部分も圧着工具で圧着します。



④ 被覆を剥いて圧着した部分を写真のようにハンダ付けをします。

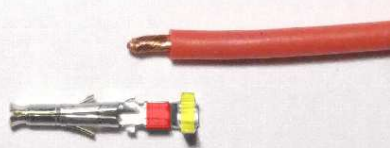



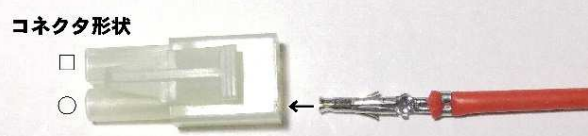

 <p>付属の熱収縮チューブをモーターコネクタ（ファストン端子）が隠れる程度の長さにカットして被せます。</p>	 <p>被せた熱収縮チューブをヒートガンやライター等で熱して収縮させて下さい。</p>
---	--

⑤ コネクタの絶縁をします。

⑥ 熱収縮チューブを熱して収縮させます。

マイナス側（黒コード）も同様に繋がります。

■ ミニコネクタ（JST EL コネクタピン）とシリコンコードの繋ぎ方

 <p> ■ の部分はコードの被覆を剥いて芯線がむき出しになっている部分を圧着します。 ■ の部分はコードの被覆を向かずに圧着します。 </p>	 <p>被覆を剥いたコードをミニコネクタ（JST ELコネクタ）と圧着します。</p>
 <p>被覆を剥いていない部分も圧着します。</p>	 <p>コードの被覆を剥いて圧着した部分をハンダ付けします。ハンダ付けすることで通電効率の向上とコードがコネクタから抜けるのを防止します。</p>
 <p> コネクタ形状 <input type="checkbox"/> □ <input type="checkbox"/> ○ </p> <p>コネクタ形状の○にプラス（赤コード）、□にマイナス（黒コード）を差し込みます。</p>	 <p>これでプラス側（赤コード）が完成です。マイナス（黒コード）側も同様の手順です。</p>

⑤ 圧着したコネクタピンをコネクタに極性に注意して差し込みます。

⑥ 奥まで差し込むと抜けなくなります。

マイナス側（黒コード）も同様に繋がります。